

年^二漸く平定するに至りたり。當時彼等の勇武及戰略に就き、稍、觀るに足るもの少しとせず。知らず現今の東干將た當年の意氣ありや。

今此の種族の狀貌を以て、他の土耳其種族に比較すれば、大體同族と異ならざるも、稍、吉爾幾思若くは、蒙古族に類似せり。是に於てか或は回鶻の子孫と爲し、或は土耳其の種族と爲す。共に根據とする所あるも、唯、彼等祖先以來の運動の徑路を單に一面より見たる結果に過ぎず。

六 哈薩克

哈薩克は土耳其人種に「ウスベツク、スラブ」人種を混血し、蒙古族と深き關係を有す。要するに彼等は舊と蒙古族より分れたるもの、如く、宗教は一般に回々教を奉せり。

蒙古の一支族たる北匈奴の漢に滅ばさるゝや、其の過半は降服し、他は遠く西北に奔り、一時裏海の濱に留りて、後中央亞細亞の間に、突厥國と爲りて起ち、次で東西二派に分れ、西突厥は波斯を略し、其の一部族は突厥可薩部と稱へ、露國の南方所謂露西亞平原の中樞ドゥネーブル河邊に至りて游牧し、又餘の一部は黠戛斯族と混